

令和7年度
学校だより
第23号

あかさか

おもいやりの心もち お互いに高め合い
たくましく生きる子ども



伊達市立大田小学校
文責：芳賀沼真由美
令和7年10月10日

☆☆ 異年齢交流～縦割り班活動～ ☆☆

大田小学校では、1～6年生の児童が縦割りで8つの班に分かれ、異年齢での清掃活動や縦割り班遊びに取り組んでいます。異年齢との交流を通して、「豊かな人間関係づくり」や「自他のよさを認め、尊重して行動する子どもの育成」を目指しています。

清掃活動は毎週火曜日と金曜日に行います。13時10分になると、それぞれの清掃場所へ移動します。6年生は1年生を教室まで迎えに行き、一緒に清掃場所に向かいます。清掃時の一斉放送はなく、自主的に13時15分に班長の号令であいさつをし、縦割り班での清掃が始まります。上級生が下級生に用具の使い方を優しく教えてあげる姿や、1・2年生も丁寧にぞうきんがけをする姿が見られます。お互いを思いやりながら活動する子どもたちはすばらしいです。13時25分を過ぎると最後の仕上げや用具の片付けをし、13時30分には清掃終了です。

また、縦割り班遊びが年6回計画されており、体育館や校庭、教室に分かれて、ドッジボールやドッジビー、けいどろ、だるまさんがころんだ、ハンカチ落としなどで楽しく遊びます。6日（月）の縦割り班遊びのドッジビーでは、フリスビーをキャッチした上級生が「誰か投げたい人いる？」などと優しく声をかけ、下級生に投げさせてあげる姿が見られ、とても嬉しく思いました。

その他にも、毎日の登下校や鼓笛の楽器パート練習、児童会委員会、クラブ活動など、異年齢との交流はたくさんあります。これらの交流を通して、上級生が下級生を思いやる姿や下級生が上級生に憧れを抱く姿が見られることは大田小の強みであり、すばらしいと思います。

今後も、多様な他者に関わる場面を積極的に活用し、相手の立場に立って考える視点を大切にしながら、「自分のよさも友達のよさも認め合える大田の子」を育てていきたいと思っています。



ぼくは、縦割り班遊びで「ドッジビー」をしました。楽しかったです。前にやった「だるまさんがころんだ」や「フルーツバスケット」も楽しかったです。

【1年生】

1・2年生はフリスビーをキャッチできないので、フリスビーを投げられないと思って「誰か投げたい人いる？」と声をかけました。1年生が投げってくれて良かったです。

【5年生】

縦割り班清掃でも縦割り班遊びでも、みんなに分かりやすく説明することが大切だと思います。そうすると、みんなが指示に従って楽しく活動してくれます。みんなが楽しく活動できると嬉しいです。

【6年生】

学習発表会まで2週間

25日（土）の学習発表会まで2週間となり、各学年の練習も始まっています。限られた時間での練習ではありますが、家でも練習している成果が見られ、回数を重ねるごとに発表の声や動きも大きくなり、上手になってきています。

今週は、風邪をひいている児童や発熱のため欠席する児童が複数名みられました。学習発表会当日、お子さんが元気に発表ができるよう、ご家庭でも体調管理をよろしくお願いいたします。

